

関西支部 2004 年度第2回例会のお知らせ

日 時：2004 年 11 月 26 日（金）
13 時 00 分～17 時 30 分
会 場：香川大学教育学部第 4 会議室
（高松市幸町 1 - 1）

- 1 「小学校理科教科書における気象分野の扱いの問題点について」
 - * 森 征洋
高橋 一栄（香川大学教育学部）
- 2 「神戸周辺での晴天日における大気境界層内の日変化」
 - * 清原 康友（神戸大学大学院自然科学研究科）
山中 大学（神戸大学大学院自然科学研究科，IORGC）
- 3 「Inertial Dissipation 法を用いた海面乱流フラックスの評価」
 - * 田原 直幸
松岡 敬祐
高橋 聡司（岡山大学大学院自然科学研究科）
塚本 修（岡山大学理学部）
石田 廣史（神戸大学）
- 4 「観測船「みらい」を用いた海面乱流フラックスの連続測定（3）」
 - * 松岡 敬祐
田原 直幸
近藤 文義
高橋 聡司（岡山大学大学院自然科学研究科）
塚本 修（岡山大学理学部）
石田 廣史（神戸大学）
- 5 「女木島における局地的強風「オトシ」の数値シミュレーション」
 - * 吉田 真純
森 征洋（香川大学大学院教育学研究科）
渡辺匡央（松江地方気象台）
- 6 「夏雲の動態の研究」
 - 千葉 修（高知大・黒潮圏）
* 川田 陽輔（高知大・理学部）

休憩（14時35分～14時45分）

7 「台風による樹木災害について」

千葉 修（高知大・黒潮圏）
*金野 亨（高知大・理学部）

8 「京阪神地域で発生する線状降水帯について」

*東 邦昭
藤井 健（京都産業大学大学院理学研究科）

9 「豪雨をもたらす線状メソ対流系の発生維持機構について
- 2003年7月18,19日の徳島県南部の豪雨 - 」

*津口 裕茂
福原 正明（徳島地方気象台）

10 「2004年8月1日～2日の四国中東部の記録的大雨」

*松長 高雄
鈴江 浩成
真鍋 恒夫（高松地方気象台観測予報課）

11 「平成16年台風第16号,18号による高潮について」

安芸 忠司
*朝原 信長（高松地方気象台観測予報課）

但し*は発表者。

（休憩：16時00分～16時10分）

特別講演（16時10分～17時00分）

題 目：「激しいメソスケール現象について」
講演者：大野久雄氏（気象研究所 気象衛星・観測システム研究部長）

懇親会のご案内

例会終了後17時から19時30分まで
懇親会を香川大学会館（教育学部キャンパス内）で計画しています。
会費は一般：3,500円、学生：1,000円の予定です。
参加を希望される方は、11月19日(金)までに下記までご連絡願います。
香川大学教育学部森研究室
E-mail: mori@ed.kagawa-u.ac.jp

TEL: 087-832-1467 (留守電機能あり)
FAX: 087-832-1615

交通：JR高德線「昭和町」下車 徒歩5分，
JR予讃線「高松駅」タクシー約10分
(約700円)，徒歩20分
香川大学教育学部Webページ参照 (<http://www.ed.kagawa-u.ac.jp/>)

